

8月の衛研検査情報

～トピックス～

横浜市における2012/2013シーズンのインフルエンザウイルス流行株の解析

横浜市における2012/2013シーズンのインフルエンザの流行は、AH3型ウイルスが主流であり、分離・検出数の84%（180件）を占めました。B型ウイルスは15%（32件）の割合で、このうち山形系統が81%（26件）を占め優勢でした。AH1pdm09ウイルスは2株分離されたのみで流行はみられませんでした。

主な結果 AH3型ウイルスの抗原性状は、ワクチン株と類似していました。HA遺伝子系統樹解析ではワクチン株と同じサブクレード3Cに含まれました。

B型ウイルスの抗原性状は、山形系統ではワクチン株と類似していましたが、HA系統樹解析ではワクチン株とは異なるクレード2に含まれました。一方、ビクトリア系統ではレファレンス株と類似しており、HA系統樹解析でも昨シーズン流行株と同じクレードに含まれました。

AH1pdm09ウイルスの抗原性状は、ワクチン株と類似していました。HA系統樹解析では、海外で流行している株同様クレード7に含まれました。

抗インフルエンザ薬感受性サーベイランスでは、耐性株による地域流行はみられませんでした。なお、詳細な結果については本編をご覧ください。

平成24年度薬事検査について

健康福祉局医療安全課の依頼により、平成24年度に実施した、いわゆる健康食品（「ダイエット」、「痩身」等を標榜（A）：7検体、「強壮効果」を標榜（B）：22検体）の試買検査結果を報告しました。

主な結果 （A）についてセンナ等8物質を検査したところ、全て不検出でした。（B）についてシルデナフィル等8物質を検査したところ、1検体からヨヒンピンが検出されました。

衛生研究所WEBページ情報

横浜市衛生研究所WEBページは、感染症情報や保健情報、薬事情報、食品衛生情報、生活環境衛生情報等を提供しています。検査情報月報では、アクセス件数をもとに、どのような情報に関心が寄せられているかを解説しています。



主な結果 平成25年6月は、リステリア症、手足口病、クロストリジウム-ディフィシル感染症、マイコプラズマ肺炎に関するページのアクセスが多くみられ、総件数は210,951件でした。



詳しくは横浜市衛生研究所ホームページを御覧ください
<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/inspection-inf/>



横浜市衛生研究所では、所内で行われた試験検査等の結果に解説を加えて、毎月、「検査情報月報」として報告しています。